

研修構想図

学校教育目標

夢に向かってたくましくのびる新津の子

～体験・ふれあいを通して、夢と友情と学力と元気を育む～

研究主題

何のための学びかを理解して、主体的に取り組む学習を目指して
～意欲を引き出す工夫～

めざす子供像（基礎的・汎用的能力の観点から）

- ・ 友達のアドバイスを素直に受け止めたり、相手の立場に立って意見を伝えたりしている。（つながる力）
- ・ グループで話し合うことで、自分とは違う新たな考えを知ったり共通点を見つけたりしている。（つながる力）
- ・ 感情をコントロールできている。（きづく力）
- ・ 苦手なことでも意欲をもって最後まで行っている。（きづく力）
- ・ 既習事項を使って新しいことを考えている。（いどむ力）
- ・ 何が上手いかわからないのか考えて行動している。（いどむ力）
- ・ 「どんな人になりたいか」を目標に努力することの大切さに気付いている。（えがく力）

自己分析のための
キャリアアンケート・
キャリアパスポート

キャリア教育で
児童に身に付けさせ
たい力を設定

主体的に
取り組む
学習

単元構想の
工夫

児童に
身に付けさせたい力
の明確化

学習の支え

- ・ キャリアアンケートで実態を把握する。
- ・ 児童自身にも、身に付けるべき基礎的・汎用的能力を意識させる。
- ・ 「学習の約束」を教員が共通理解をし、学習規律を徹底する。
- ・ 「家庭学習の手引き」に沿って、年度初めに家庭学習について指導する。

家庭・地域との連携

発達支援教育とインクルーシブ教育の推進

児童の実態

- ・ 社会や集団を高めることよりも、自己を満足させる行動が多い。
- ・ 課題を与えられれば一生懸命取り組めるが、自ら学びを進める力は育っていない。
- ・ 自分で何とかするという個の力、たくましさ、粘り強さが十分ではない。